

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	プライバシーの配慮には個人差がある。職員全員が利用者の気持ちになって生活する体験会など、介護を受ける側の気持ちを理解する必要性が感じられる。	利用者様の立場になってケアできるようになる。	自分が利用者様だったらどう思うだろうと考えて、ケアできるように、ケアカンファレンスを定期的に行い、プライバシー、利用者様の気持ちに添った介護を全職員が行えるようにしていく。	12ヶ月
2	26	介護計画作成にセンター方式を活用しなければ、宝の持ち腐れである。利用者の思いを介護計画で実現できるような取り組みを望みたい。	センター方式を活用し、利用者様の思いを介護計画で実現できる介護計画を作成していく。	センター方式を計画作成者が家族から情報収集して作成しているが、全スタッフで”センター方式を作成していく。スタッフも担当者会議に参加して行く。ケアカンファレンスを定期的に行い、利用者の思いを汲み取った介護計画作成に取り組んでいく。	12ヶ月
3	23	その場の光景をイメージしやすい介護記録があれば、利用者の思いをさらに正確に把握することも可能となる。職員全員での組織的な取り組みに期待したい。	その場の光景がイメージしやすい介護記録を全職員が記録できるようになる。	毎月ホーム会議で記録について、話し合い、良い例などだし、全職員が記録できるように取り組んでいく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。